

# よえもん

※「よえもん」とは、中江藤樹、幼少の頃の愛称です。



《 第87号 》 (令和5年度第4号) 11月 発行

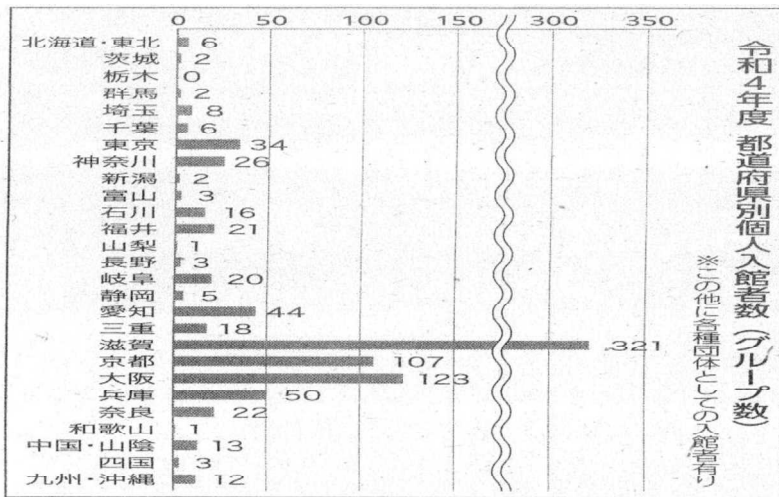
実りの秋。文化の秋。藤樹先生  
や儒学の学び深めたいですね！



藤樹書院蔵

藤樹先生が中江藤樹記念館のことをご紹介します！

冬の訪れも間近となりました。本施設には、年間を通じてたくさんの方々  
が訪問くださいます。大半が県内、市内の方々と思っていませんでしたか。  
まさか北海道や沖縄の方が訪問くださるなんて思いませんでしたか。下のグラフ  
をご覧ください。全国各地から多くの藤樹ファンの方々  
が訪問されます。隣接する陽明園の散策も楽しんでおられます。是非ご来館ください。



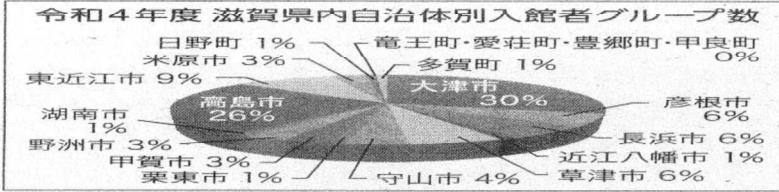
論語「学而第一之八

過ちては  
改むるに  
憚ることなかれ

書 淵田瑞穂さん

「自分が間違ったことに気づいたときには、自分のプライドとか、他人の目など気にせず、ためらうことなくその間違いを直すべきだ。」という意味です。

たとえば、友だちと遊んでいて、うっかり友だちのおもちゃを壊してしまったとき、それを隠すのではなく、すぐに謝ることが大切です。友だちから過ちを指摘されるより先に、過ちに気づいて、素直に認めれば、友だちも気持ちよく受け入れてくれるはず。過ちは、恥ずかしがらないで、勇気を出して改めましょう。



## その4 昔の試験勉強

中江藤樹や記念館にまつわる豆知識のコーナー

受験シーズンが近づいてきました。昔の中国にも、『科学』という役人になるための試験がありました。

中国は広く、沢山の人が暮らしているので、王様(皇帝)ひとりでは手が定りません。そこでみんなの中から公平に能力のある人物を集めて、良い国づくりのために働いてもらおうと考えたのです。

多くの人が科学合格をめざして勉強にはげみ、3歳くらいから勉強を始めることもめずらしくなかったそうです。また、勉強を助ける参考書も次々出版されました。参考書は日本にも渡り、中国から伝わる学問を理解するのに役立てられました。

科学は、1905年に廃止されるまで、1300年以上も続けられました。



## 職員だより

高島と車のタイヤについてお話しします。高島は古くから綿花が栽培され江戸時代には綿織物の産地となりました。今では「高島ちぢみ」のブランドで生産販売されているクレーブ肌着が広く全国に知られています。皆さんは車のタイヤに使われているタイヤコードも高島が生産地と知っていましたか？。タイヤコードとはタイヤの丸い形を守る補強材のことでゴムの内部に組み込まれたスタレシ状の織布のことです。タイヤコードがないとタイヤは丸い形を維持できなくなり車は走れません。このタイヤコード、当初は綿糸で織られていましたが現在ではポリエステルやナイロンなどの化学繊維で織られています。材料が綿糸から化学繊維に変わった今でも高島はタイヤコードの生産地として有名です。私たちの高島は暮らしや物流に欠かせない車を支えるタイヤで社会や経済の発展に貢献しています。

近江聖人中江藤樹記念館

高島市安曇川町上小川69 TEL:FAX (0740)-32-0330